



中学生チャレンジテスト

「中学生チャレンジテスト」は、府内の中学生を対象に次のことを目的として実施される府独自のテストです。

● 府教育委員会、市町村教育委員会および学校が、生徒の学力の状況をつかむことで、教育の成果と課題を明らかにし、今後の教育に生かす

● 生徒のみなさんが、自分の学習の到達状況を正しく知ることにより、自分の学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める

● 府教育委員会が、調査結果を使って、府公立高等学校入学者選抜の調査書に記載する評定が、公平性の高いものであるかどうかを確認する資料を作成し、市町村教育委員会と学校に提供する

今年度は、3年生は9月に、1・2年生は1月に実施される予定です。問題は1年生が、国語・数学・英語（リスニング問題を含む）、2・3年生が、国語・

社会・数学・理科・英語（リスニング問題を含む）で、選択式、短答式、記述式の形式で出題されます。

結果は、生徒一人ひとりに個人票で提供され、生徒は自分の学習の得意なところや苦手なところをつかみ、間違った問題にもう一度取り組んだり、苦手分野の復習につなげたりすることにより、今後の学習に活用します。

今年度も、市内の小・中学校では、学力向上に向けて、1人1台の端末などを効果的に活用しながら、子どもたちが主体的に学ぶことができる授業づくりを行います。

実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性」を育成するため、各校で取組を推進していきます。

学校園紹介



生徒全校集会 ～心の成長をめざして～
～日根野中学校～

日根野中学校では、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置をとりながら、生徒全校集会を定期的に行っています。集会を通して、生徒の「心の成長」をめざし、様々なテーマで生徒会や教職員が語ります。参加している生徒たちは自分の生活をふりかえり、これからの自分などについて考えています。



生徒会は、自分たちで話す内容を考えています。その時の状況から、これからの日根野中学校のことを考え、「相手のことを思いやった行動をしていこう」と生徒に語りかけました。その結果、仲間を気にかけて声をかけあうなどの行動がさらに増えました。

また、生徒会役員が中心に行う朝のあいさつ運動でも、役員だけではなく他の生徒も自主的に参加しています。おたがいにあいさつをかわし、気もちよく朝のスタートをきる事ができています。



これからも日根野中学校は生徒会活動をはじめ、すべての教育活動において、生徒の「心の成長」のためにとりくんでいきます。



創立150周年のプレ記念講演を行いました
～北中小学校～

北中小学校では、創立150周年の記念式典を11月25日(土)に開催する予定で準備を進めています。

これに先立ち、昨年11月にプレ記念講演を行いました。文化庁の「芸術家の派遣事業」を活用して落語家の林家染太さんをお招きし、落語鑑賞会を行いました。児童の感想から一部紹介します。



● ラーメンをすすする音や、お酒を飲む音のまねがとても上手でした。

● 一人なのに何人もいるみたいでおもしろかったです。

● 初めて落語をききました。せんすと手ぬぐいだけで人を笑わすのはすごいと思いました。

● 現代版桃太郎のお話がおもしろかったです。生意気なけんちゃんを寝かそうとして、お父さんが先に寝てしまう設定がおもしろかったです。

当日は日曜参観に続いて行いましたので、保護者も子どもたちと一緒に落語の楽しさに触れ、また、日本の伝統芸能について考えるきっかけにもなりました。

